

令和7年度苫小牧市ゼロカーボン支援  
コンサルティング事業 活動報告書

ゼロカーボン支援コンサルティング事業委託業務受託コンソーシアム

2026年3月





- I. はじめに
  - ① 事業概要
  - ② 事業実績
- II. セミナー実施報告
  - ① 入門編
  - ② 実践編
  - ③ アンケート結果サマリ
- III. 支援事業実施報告
  - ① 温室効果ガス排出量評価
  - ② 省エネルギー診断



## I. はじめに

- ① 事業概要
- ② 事業実績

## II. セミナー実施報告

- ① 入門編
- ② 実践編
- ③ アンケート結果サマリ

## III. 支援事業実施報告

- ① 温室効果ガス排出量評価
- ② 省エネルギー診断



■ ゼロカーボン促進への機運醸成を目的に、中小企業のための脱炭素セミナーを開催致しました。

### セミナー開催概要とタイムスケジュール

**6/24(火) 入門編**

**会場** 苫小牧経済センタービル 6階 大ホール

**定員** リアル参加80名、web参加制限なし

**申込締切** 6月20日(金)

**タイムスケジュール**

14:30~15:00(30分) 地域ぐるみでゼロカーボンに取り組む意義

**講師** 環境省北海道地方環境事務所 様

15:00~15:15(15分) 苫小牧市内企業様の脱炭素経営取り組み事例

**講師** TOMASEIホールディングス株式会社 代表取締役 渡辺 秀敏 様

15:15~15:30(15分) 温室効果ガス排出量算定ツール及び省エネ診断の活用

**講師** 株式会社Sustech 木龍 雅世 様

**9/26(金) 実践編**

**会場** 苫小牧信用金庫本店 講演ホール

**定員** リアル参加50名、web参加制限なし

**申込締切** 9月24日(水)

**タイムスケジュール**

14:30~15:00(30分) 脱炭素関連補助金有効活用のポイント

**講師** 株式会社北海道共創パートナーズ ディレクター 榎山 浩輝

15:00~15:30(30分) 省エネ設備切替のポイント

**講師** 株式会社NEXYZ 取締役 営業統括本部長 松下 法生 様

webでのご参加はTeamsを利用いたします

セミナーのお申し込みはこちらから▶▶▶  
URLまたはQRコードからお申込みできます。

<https://forms.office.com/r/v8AmDc4P8f>

**お問い合わせ事務局** 株式会社北海道共創パートナーズ (担当 藤山・切石)

札幌市中央区大通西3丁目7番地 北洋大通センター13階

TEL 011-596-7814 **E-mail** tomakomai-zeroarbon@h-kyoso.co.jp

※北海道共創パートナーズは、苫小牧市より「苫小牧ゼロカーボン支援コンサルティング事業」の委託を受け、当セミナー及び個別相談会の運営を担っています。

発行：苫小牧市 産業経済部 企業政策室 工業・雇用振興課

令和7年度 苫小牧市ゼロカーボン支援コンサルティング事業

カーボンニュートラルが苫小牧市の未来を拓く

## 脱炭素経営セミナー

入門編・実践編ともにセミナー終了後、個別相談会を実施(30分)

令和7年  
**入門編** 6月24日(火)

(時間) 14:30~15:30

令和7年  
**実践編** 9月26日(金)

(時間) 14:30~15:30

参加費  
無料

こんな方におすすめのセミナーです

- そもそも、脱炭素に取り組んでどんなメリットがあるのと感じられている方。
- 脱炭素に取り組まなければいけないが、どこから手を付けてよいかわからず困っている方。
- 脱炭素に取り組む意義について社員に伝えていきたいが、なかなか浸透せず悩んでいる方。

ぜひ、この機会に脱炭素経営について一緒に考えてみませんか

セミナーのご案内は裏面をご覧ください

脱炭素経営に取り組むメリット

- ①エネルギーコストの削減**  
物価高騰等厳しい環境が続く中で、脱炭素経営への取り組みはコスト削減のための有効なアプローチになります。
- ②補助金活用の幅が広がり、採用活動にもプラス**  
省エネや脱炭素経営に取り組む事で活用できる補助金の選択肢の幅が広がり、環境への意識が高い次世代人材の採用強化にもプラスになります。
- ③新たなビジネスチャンスの獲得**  
脱炭素経営への取り組みを通じ自社の企業価値を向上させる事が、新たなビジネスチャンスの獲得に繋がります。

参加者特典 (希望企業会社)

- ① 温室効果ガス排出量算定ツール<sup>(1)</sup>「CARBONIX」
- ② 補助金よろず相談サービス  
貴社のニーズにあった補助金情報をタイムリーにご案内
- ③ 省エネ設備導入診断の実施  
LED照明や空調設備等入替に伴う費用対効果を試算
- ④ 脱炭素個別相談会の実施 (事前予約要<sup>(2)</sup>)

① ユーザー登録(ユーザー)後の申し込みが必要で、サービス利用は別途申し込みが必要となります。  
② 個別サービスには事前予約が必要となります。

中面は今年度のゼロカーボンに関する苫小牧市内企業向けのコンサルティングメニューです

3

■ 苫小牧市内事業者に対し、省エネルギー診断及び、温室効果ガス排出量評価を実施致しました。

## 令和7年度 苫小牧市ゼロカーボン支援コンサルティング事業 コンサルティングメニュー

**排出量算定**

**省エネ診断**

**目標設定**

初期 ヒアリング

算定用 データ回収  
算定用データ提出

算定代行 Scope1,2  
温室効果ガス排出量の算定

省エネ診断

目標設定

ロードマップ策定

企業様が行うのは  
データ提出のみ！(年度1年分)

### 1 温室効果ガス排出量算定プラン

15社無料実施

北海道共創パートナーズが、温室効果ガス排出量(Scope1,2)の算定業務を代行し結果をご報告するとともに、株式会社Sustechが温室効果ガス排出量算定用クラウドサービス「CARBONiX」使用方法に関してレクチャー致します。

Sustechの温室効果ガス排出量算定ツール  
**CARBONiX**

※事業終了後も  
無償利用可

初めての取り組みで計算方法や集計方法がよくわからない	入力に膨大な時間がかかり、結局計算ソフトの方が簡単なのでは？	他のツールを使っていたが、相違点が変わり、照算に算出がすすまない
カーボンニュートラル目標の設定や、情報開示のロードマップがわからない	各拠点やグループ会社など、複数に跨ってデータを見える化したい	温室効果ガスを算出した後、どのように削減していったらよいのかわからない

※ユーザーご選択(ユーザーご選択の場合)年間1回または半年度ご選択(回数上限あり)等によって別費用が発生するケースがございます

### 2 省エネ診断プラン

5社無料実施

温室効果ガス排出量評価に加え、希望する苫小牧市内の事業所1拠点に対し、株式会社Sustechによる省エネ診断を実施します。

**診断内容**

- 照明・空調など建築設備のほか、製造業に多いコンプレッサ、ポンプ・ファンなどのムダ、効率の良い使用をチェック
- 施設概要、主要設備、エネルギー管理体制の確認に関する情報収集  
月別・種別別エネルギー消費量、建物諸元・図面、設備諸元・図面、設備点検記録、エネルギー管理体制等のヒアリング実施
- エネルギー消費量状況の確認  
上記項目を整理し、エネルギー消費量、用途別割合等整理
- 省エネルギー診断調査  
現地調査を行い、運用で改善できる事項と設備更新を伴う事項を整理して提示

**報告** 5社それぞれに報告書を作成し、オンラインで報告

### 3 温室効果ガス削減目標設定プラン

5社無料実施

温室効果ガス排出量評価、省エネ診断に加え、2030年までの温室効果ガス削減目標を、株式会社Sustechが設定します。

公募期間 **6月2日(月)~6月20日(金)** お申し込みはこちらから▶ <https://forms.office.com/r/YZzdp3f3p>

### 4 補助金よろず相談サービスのご案内

セミナー参加企業全社無料実施

北海道共創パートナーズが、約7万件の補助金情報から、貴社のニーズにあった補助金情報をタイムリーにご案内致します。

サービスの流れ

補助金のご案内から申請まで、全面的にサポートします。

メール配信登録

補助金情報のお知らせ

申請サポート

※セミナー参加申込後から2026年2月末まで受け付け

### 5 省エネ設備導入診断のご案内

セミナー参加企業全社無料実施

株式会社NEXYZが、LED照明や空調設備等導入に伴う、コスト削減効果を試算し、ご報告致します。

LED照明導入による費用対効果を事前調査 (PMI)

導入後の費用対効果やCO2排出削減量まで、事前調査(国産製品を条件で実施します)。  
また、照明コンサルタントが最適なLED製品の選定を行い、電気料金の削減コスト内での導入実施を支援します。

※LED照明導入による省エネ効果は、LED照明導入後のLED照明の導入率によって異なります。また、LED照明導入による省エネ効果は、LED照明導入後のLED照明の導入率によって異なります。

※セミナー参加申込後から2026年2月末まで受け付け



- 令和7年度事業実績は下記の通りです。
- いずれも、目標値をクリアする実績を実現しております。

	支援内容	目標	実績	達成率
1	セミナー(延べ参加者数)	300名	325名	108%
2	省エネルギー診断	10件	10件	100%
3	温室効果ガス排出量評価	25件	25件	100%
4	温室効果ガス排出量削減目標設定	5件	5件	100%
5	脱炭素に寄与する 設備投資への取り組み	5件	5件	100%



## I. はじめに

- ① 事業概要
- ② 事業実績

## II. セミナー実施報告

- ① 入門編
- ② 実践編
- ③ アンケート結果サマリ

## III. 支援事業実施報告

- ① 温室効果ガス排出量評価
- ② 省エネルギー診断

- 幅広い中小企業にゼロカーボンの取り組みや意義について認知頂き関心を持ってもらう事を目的に、脱炭素セミナー入門編を下記の通り実施致しました。

脱炭素セミナー入門編概要	
目的	幅広い中小企業にゼロカーボンの取り組みや意義について認知頂き関心を持ってもらう事
日時	2025年6月24日(火) セミナー 14:30～15:30 個別相談会 15:30～16:00
会場	苫小牧経済センタービル6階大ホール
実施方法	会場参加・ウェビナー併用
タイムスケジュール	<p>14:30～15:00(30分) 地域ぐるみでゼロカーボンに取り組む意義 講師:環境省北海道環境事務所 次長 西野雄一様</p> <p>15:00～15:15(15分) 苫小牧市内企業様の脱炭素経営取り組み事例 講師:TOMASEIホールディングス株式会社 代表取締役 渡辺秀敏様</p> <p>15:15～15:30(15分) 温室効果ガス排出量算定ツール及び省エネ診断の活用 講師:株式会社Sustech 木龍雅世様</p>

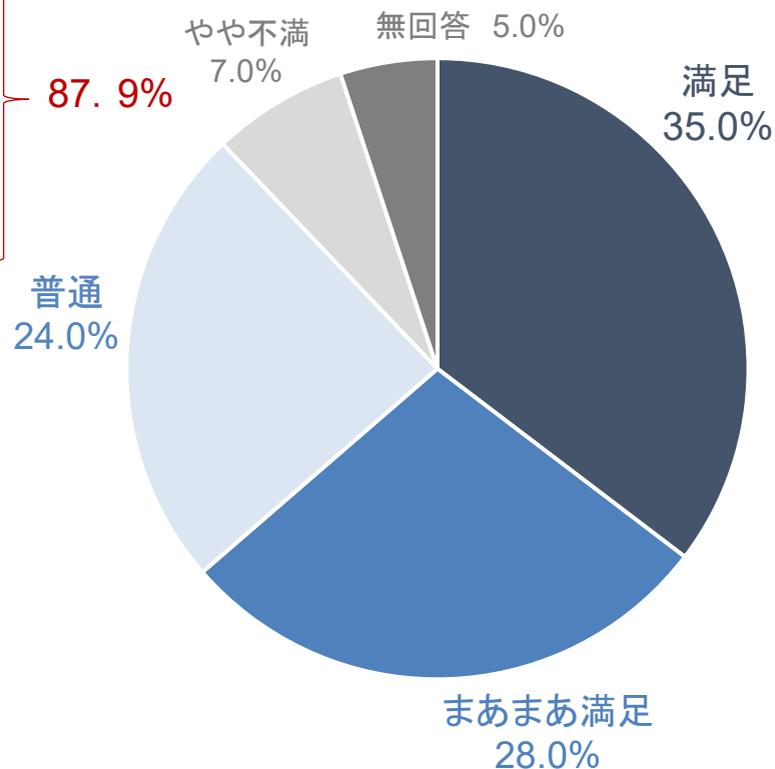


- セミナー満足度に関して、約9割の参加者に普通以上の回答を頂きました。
- やや不満と回答頂いた方からも、「より実践的な内容をもっと聞きたかった。」、「実際の企業の取り組み事例に関してもっと聞きたかった。」等、実践編に繋がる前向きなコメントを頂きました。

Q1.セミナー満足度について当てはまる部分にチェックを入れてください

	会場参加	Web参加	合計	割合
満足	29	6	35	35.0%
まあまあ満足	20	8	28	28.0%
普通	15	9	24	24.0%
やや不満	6	1	7	7.0%
不満足	0	0	0	0.0%
無回答	5	0	5	5.0%

約9割の参加者が  
満足・まあまあ満足・普通と回答





## I. はじめに

- ① 事業概要
- ② 事業実績

## II. セミナー実施報告

- ① 入門編
- ② 実践編
- ③ アンケート結果サマリ

## III. 支援事業実施報告

- ① 温室効果ガス排出量評価
- ② 省エネルギー診断

- ゼロカーボンの取り組みについて認知・関心を持った企業の実践フェーズへの移行を促す事を目的に、脱炭素セミナー実践編を下記の通り実施いたしました。

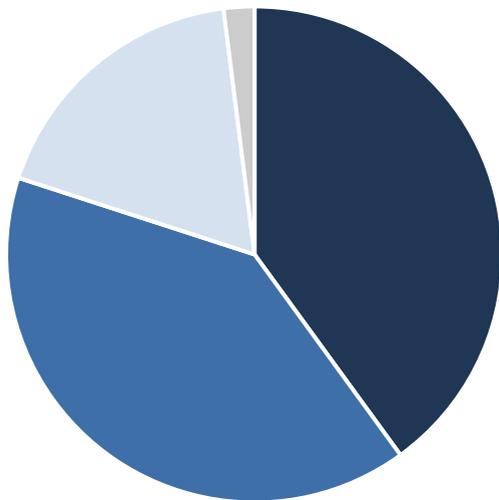


### 脱炭素セミナー実践編概要

<p><b>目的</b></p>	<p>入門編で認知・関心を持った中核企業に対し、必要性やメリットを強く訴求する事でゼロカーボンの取り組みを実行したいと感じてもらい、実践フェーズへの移行を促す</p>
<p><b>日時</b></p>	<p>2025年9月26日(金)                  セミナー : 14:30~15:30                  個別相談会 : 15:30~16:30</p>
<p><b>会場</b></p>	<p>苫小牧信用金庫本店 大会議室</p>
<p><b>実施方法</b></p>	<p>会場参加・ウェビナー(Microsoft Teams)併用</p>
<p><b>タイム スケジュール</b></p>	<p><u>14:30~15:00(30分)</u>                  「脱炭素関連補助金有効活用のポイント」                  HKP ディレクター 檜山浩輝 コンサルタント 佐々木 猛  <u>15:00~15:30(30分)</u>                  「省エネ設備切替のポイント」                  株式会社NEXYZ 取締役 営業統括本部長 松下法生 様</p>

- 回答者の80.0%が本セミナーについて「満足」または「まあまあ満足」と回答しており、本セミナーの満足度は総じて高かったといえます。

Q1. セミナー満足度について当てはまる部分にチェックを入れてください

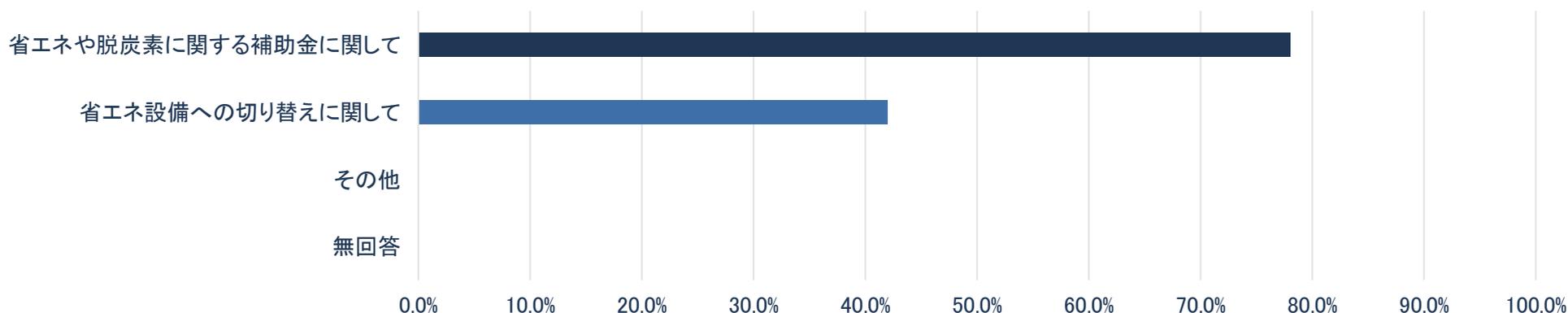


■ 満足 ■ まあまあ満足 ■ 普通 ■ やや不満足 ■ 不満足 ■ 無回答

	会場参加	Web参加	合計	割合
満足	15	5	20	40.0%
まあまあ満足	10	10	20	40.0%
普通	2	7	9	18.0%
やや不満足	1	0	1	2.0%
不満足	0	0	0	0%
無回答	0	0	0	0%

- 回答者の78.0%が「省エネや脱炭素に関する補助金に関して」興味を持ったと回答しており、最もセミナー参加者の注目を集めたテーマとなりました。

Q2. セミナーに関して興味を持った項目や、もっと聞きたいと思った項目を教えてください(複数回答可)



	会場参加	Web参加	合計	割合
省エネや脱炭素に関する補助金に関して	21	18	39	78.0%
省エネ設備への切り替えに関して	11	10	21	42.0%
その他	0	0	0	0%
無回答	0	0	0	0%



## I. はじめに

- ① 事業概要
- ② 事業実績

## II. セミナー実施報告

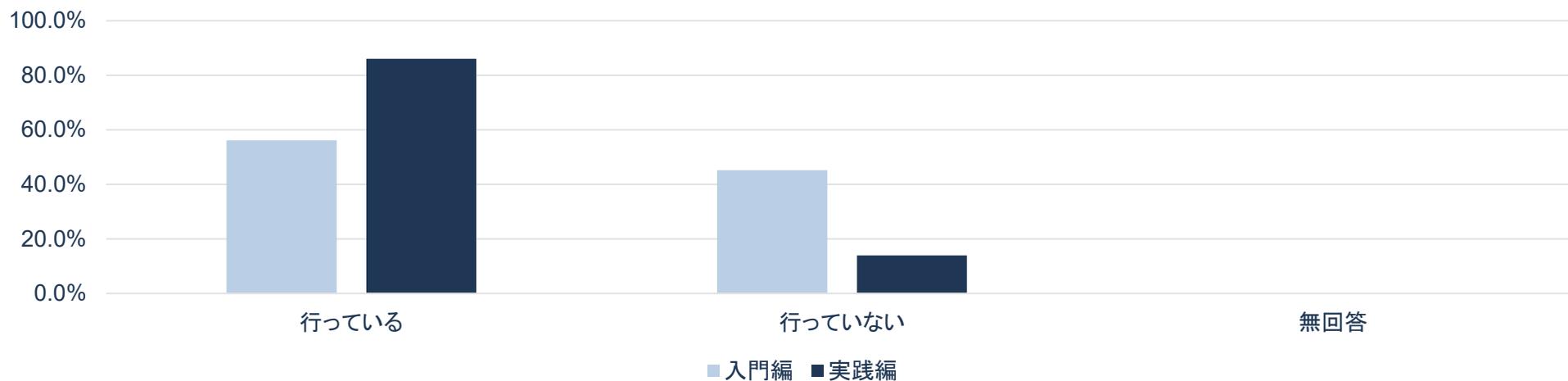
- ① 入門編
- ② 実践編
- ③ アンケート結果サマリ

## III. 支援事業実施報告

- ① 温室効果ガス排出量評価
- ② 省エネルギー診断

■ 「脱炭素に取り組んでいる」と回答した割合について入門編56.2%に対し、実践編86.0%でした。

Q. 貴社では現状、脱炭素に関する取り組みを行っていますか



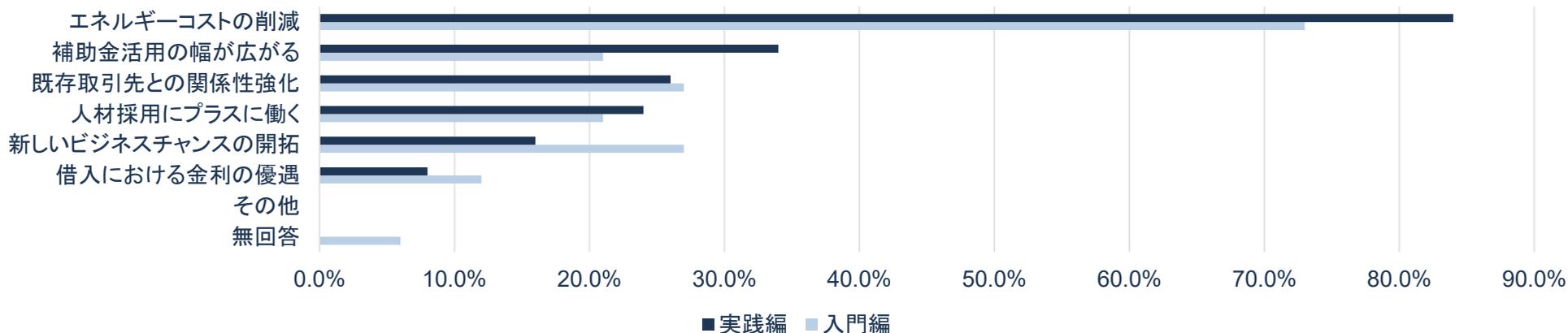
	入門編	実践編
行っている	56.2 %	86.0 %
行っていない	45.2 %	14.0 %
無回答	0 %	0 %

- 脱炭素に関する取り組みとして、入門編・実践編ともに「省エネの取り組み」が半数超と最も多い回答結果となった一方で、「CO2排出量の算定や削減目標の設定」の回答割合は3割程度であり、市内中小企業における脱炭素経営浸透はまだまだ道半ばの状態であるといえます。

	入門編	実践編
省エネの取り組み	52.7%	64.0 %
CO2排出量の算定や削減目標の設定	25.7%	32.0 %
社内浸透の取り組み (社員向け勉強会や啓発活動の実施等)	13.5%	26.0 %
電化の取り組み (営業車両のEV化、化石燃料から電気への切替等)	13.5%	14.0 %
再生可能エネルギーの活用 (太陽光等)	20.3%	12.0 %
カーボンクレジットや非化石証書の活用	6.8%	4.0 %
地域の脱炭素に寄与する取り組み (脱炭素の機運を醸成する地域イベントへの貢献等)	8.1%	0 %
その他	6.8%	0 %

- 脱炭素に期待する効果として、入門編・実践編ともに「エネルギーコストの削減」と回答した割合が最も多い結果となりました。

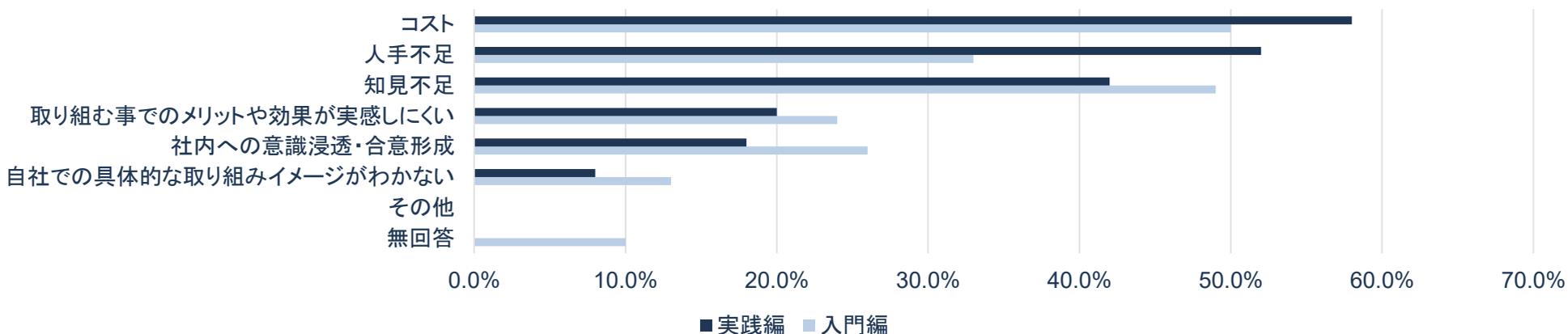
Q. 脱炭素に取り組む事で特に期待する効果を教えてください(複数回答可)



	入門編	実践編
エネルギーコストの削減	73.0 %	84.0 %
補助金活用の幅が広がる	21.0 %	34.0 %
既存取引先との関係性強化	27.0 %	26.0 %
人材採用にプラスに働く	21.0 %	24.0 %
新しいビジネスチャンスの開拓	27.0 %	16.0 %
借入における金利の優遇	12.0 %	8.0 %
その他	0 %	0 %
無回答	6.0 %	0 %

- 入門編、実践編ともに、「コスト」と回答した割合が最も多く、次いで「人手不足」、「知見不足」が多い結果となりました。

Q. 脱炭素に取り組む(検討する)うえで課題と感じられている事を教えてください(複数回答可)



	入門編	実践編
コスト	50.0 %	58.0 %
人手不足 (脱炭素の取り組みに人手を割けない)	33.0 %	52.0 %
知見不足 (どこから手を付けていいか分からない)	49.0 %	42.0 %
取り組む事でのメリットや効果が実感しにくい	24.0 %	20.0 %
社内への意識浸透・合意形成	26.0 %	28.0 %
自社での具体的な取り組みイメージがわからない	13.0 %	8.0 %
その他	0 %	0 %
無回答	10.0 %	0 %



## I. はじめに

- ① 事業概要
- ② 事業実績

## II. セミナー実施報告

- ① 入門編
- ② 実践編
- ③ アンケート結果サマリ

## III. 支援事業実施報告

- ① 温室効果ガス排出量評価
- ② 省エネルギー診断

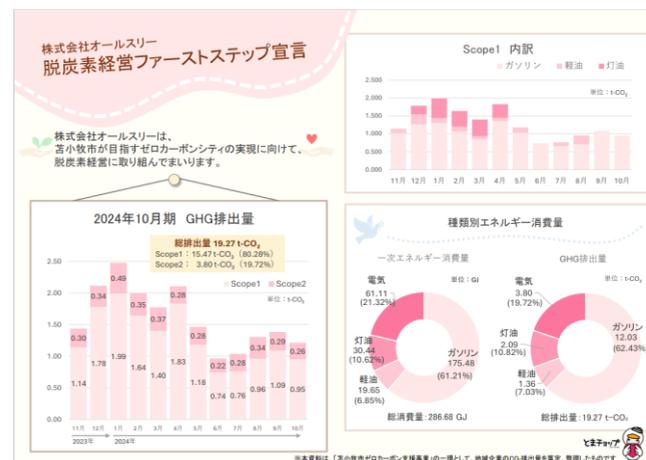
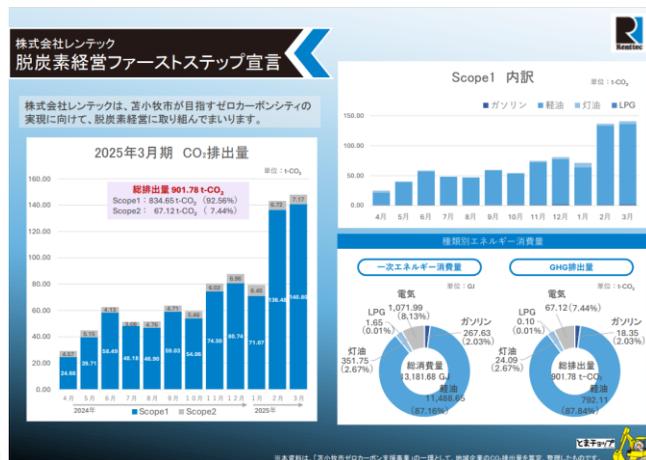
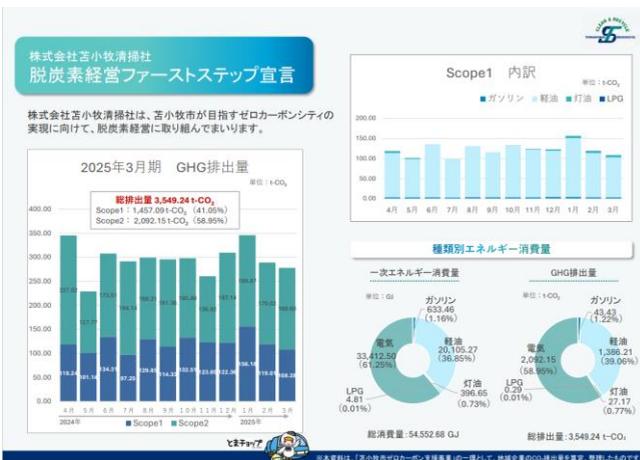
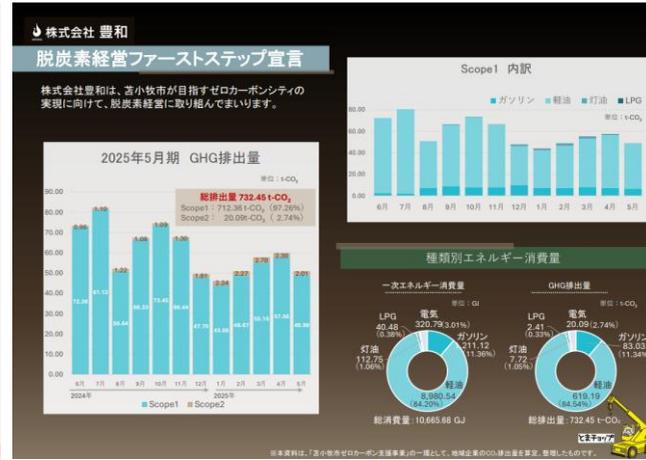
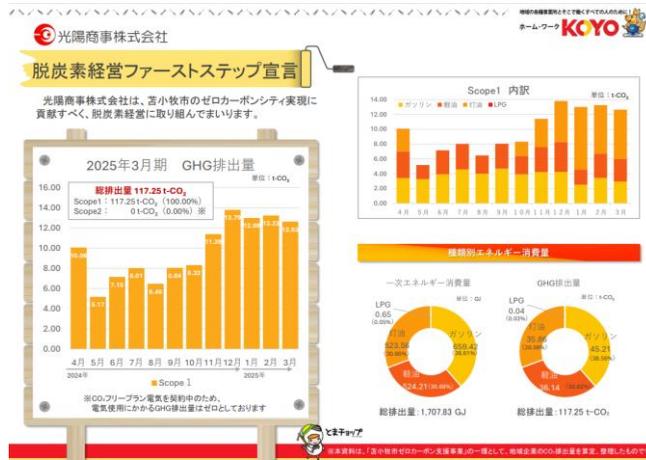
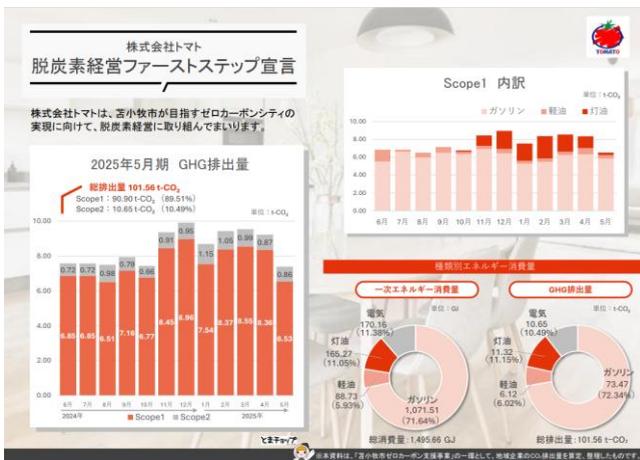
- 製造業や建設業を中心とした幅広い業界の苫小牧市内事業者25先に対し、温室効果ガス排出量評価を実施致しました。

	支援先数	業種	SCOPE1	SCOPE2	総排出量
1	5社	製造業	13,949.75 t-CO2 (65.73%)	7,272.19 t-CO2 (34.27%)	21,221.94 t-CO2
2	4社	建設業			
3	3社	設備工事			
4	3社	サービス			
5	2社	廃棄物処理			
6	2社	ハウスメーカー			
7	2社	運送			
8	2社	医療・福祉			
9	1社	IT			
10	1社	小売・卸			
計	25社	10業種			

※SCOPE1:化石燃料の燃焼等による直接排出量  
 SCOPE2:他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出量

■ ①支援企業のゼロカーボン実践の促進及び②温室効果ガス排出量算定に興味を持つ市内企業を増やす事を目的に、「脱炭素経営ファーストステップ宣言」を下記の通り策定致しました。

脱炭素経営ファーストステップ宣言抜粋(※他企業支援実績含む詳細は別添資料を参照願います。)





- I. はじめに
  - ① 事業概要
  - ② 事業実績
- II. セミナー実施報告
  - ① 入門編
  - ② 実践編
  - ③ アンケート結果サマリ
- III. 支援事業実施報告
  - ① 温室効果ガス排出量評価
  - ② 省エネルギー診断

- 苫小牧市内中小企業10先に対し、省エネルギー診断を実施致しました。

	支援先	業種	省エネ診断施策による期待削減効果
			温室効果ガス
			量 (t-CO2/年)
1	5社	製造業	150.53 t-CO2/年
2	1社	建設業	
3	1社	サービス	
4	1社	ハウスメーカー	
5	1社	医療・福祉	
6	1社	IT	
計	10社	6業種	

## 美容室ZEST 脱炭素経営ファーストステップ宣言

美容室ZESTは、苫小牧市  
実現に向けて、脱炭素経営



※グラフ数値は、更新前後の店舗空調設備GHG排出量を比較したものです

設備種別	施策内容	削減Scope	削減量		
			エネルギー量	一次エネルギー換算量	GHG排出量
空調設備	空調機更新 (燃料転換)	1	1,000 L /年	26.90 GJ /年	1.91 t-CO <sub>2</sub> /年
集計		Scope1		0 GJ /年	0 t-CO <sub>2</sub> /年
		Scope2		26.90 GJ /年	1.91 t-CO <sub>2</sub> /年
	合計			26.90 GJ /年	1.91 t-CO <sub>2</sub> /年



### Interview

**< 概要 >**  
苫小牧市ゼロカーボン推進事業補助金を活用し、美容室店舗における空調設備の入替を実現 (補助率1/2)

**本事業申込みのきっかけ**  
美容室店舗の空調機がちょうど古くなってきて、入替を検討していたタイミングで、今回の事業を知りました。補助要件である省エネルギー診断等を自分たちで手配するのめかなりの労力と時間が必要であることから、苫小牧市ゼロカーボン支援事業への応募を決めました。

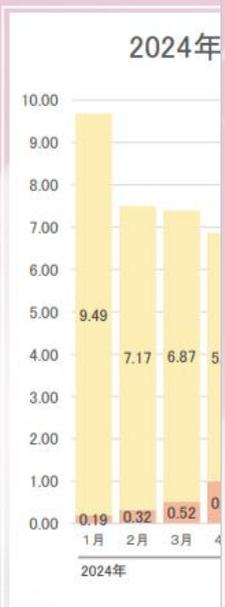


**本事業の感想**  
補助金の活用は初めてで、どのように申請したら良いのか、わからないことがたくさんありましたが、事務局の方々が最後まで丁寧に寄り添ってくれた事で、不安な点を都度解消する事ができ、非常に心強かったです。省エネ設備への切替で、設備導入の資金を一部補助してもらえただけでなく、年間のエネルギーコスト削減にもつながるのが、うれしいポイントでした。



## 株式会社 ヒロ開発 脱炭素経営ファーストステップ宣言

株式会社 ヒロ開発は  
実現に向けて、脱炭素



### 削減施策一覧

設備種別	施策内容	削減Scope	削減量			
			エネルギー量	一次エネルギー換算量	GHG排出量	エネルギーコスト
照明設備	館内照明LED化	2	5,199 L / 年	44.92 GJ / 年	2.78 t-CO <sub>2</sub> / 年	150,779 円 / 年
空調設備	室外機フィンの定期洗浄	2	1,401 kWh / 年	12.10 GJ / 年	0.75 t-CO <sub>2</sub> / 年	31,629 円 / 年
空調設備	室外機フィルターの定期清掃	2	1,401 kWh / 年	12.10 GJ / 年	0.75 t-CO <sub>2</sub> / 年	40,629 円 / 年
集計		Scope1		0 GJ / 年	0 t-CO <sub>2</sub> / 年	0 円 / 年
		Scope2		69.12 GJ / 年	4.28 t-CO <sub>2</sub> / 年	223,037 円 / 年
	合計			69.12 GJ / 年	4.28 t-CO <sub>2</sub> / 年	223,037 円 / 年



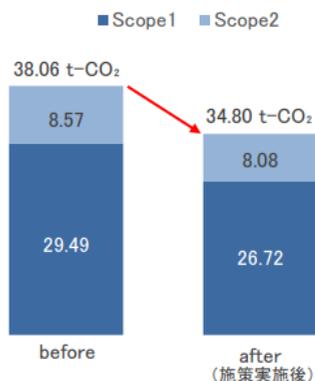
## ミライホーム株式会社 脱炭素経営ファーストステップ宣言

ミライホーム株式会社は、苦小牧市が目指すゼロカーボンシティの  
実現に向けて、脱炭素経営

### Scope1 内訳

単位:t-CO<sub>2</sub>

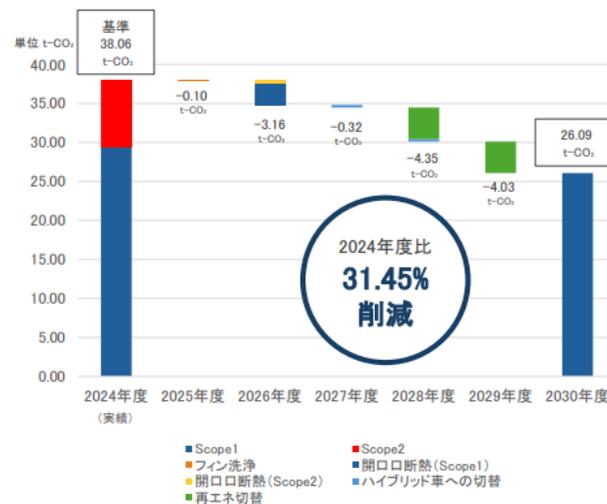
### 省エネ診断結果・削減効果



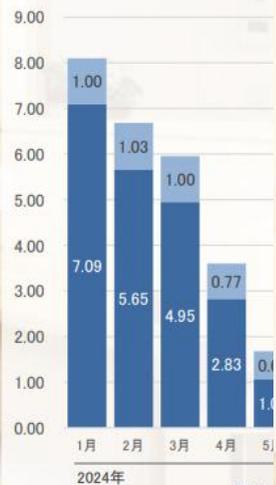
GHG排出量  
**3.26**  
t-CO<sub>2</sub>/年

削減コスト  
**149,168**  
円/年

### 削減ロードマップ



### 2024年12月



### 削減施策一覧

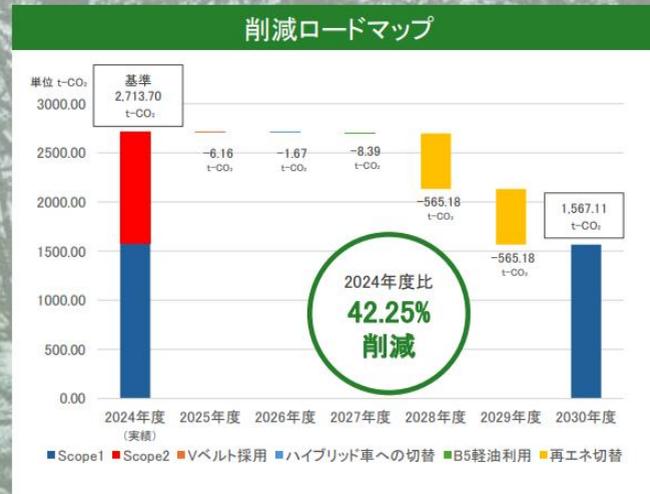
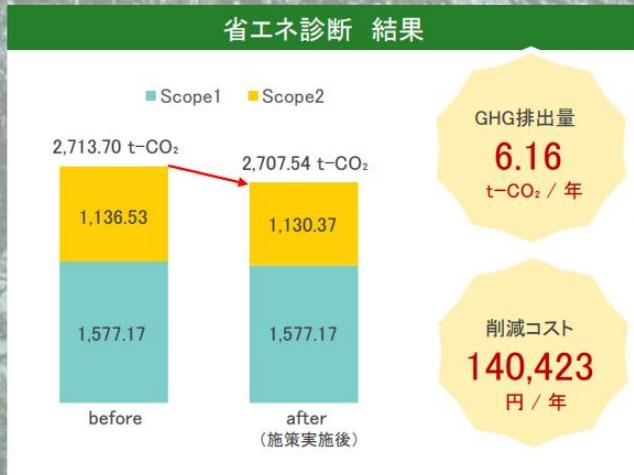
設備種別	施策内容	削減Scope	削減量			
			エネルギー量	一次エネルギー換算量	GHG排出量	エネルギーコスト
空調設備	室外機フィンの定期洗浄	2	232 kWh/年	2.00 GJ/年	0.10 t-CO <sub>2</sub> /年	1,299 円/年
建築設備	開口部の断熱対策	1	1,108 L/年	40.44 GJ/年	2.77 t-CO <sub>2</sub> /年	147,870 円/年
建築設備	開口部の断熱対策	2	926 kWh/年	8.00 GJ/年	0.39 t-CO <sub>2</sub> /年	
集計		Scope1		0 GJ/年	2.77 t-CO <sub>2</sub> /年	
		Scope2		58.24 GJ/年	0.49 t-CO <sub>2</sub> /年	149,168 円/年
		合計		58.24 GJ/年	3.26 t-CO <sub>2</sub> /年	

### 削減施策例

No.	分類	内容	削減量
1	空調設備	室外機フィンの定期洗浄 (1回/3年)	0.10 t-CO <sub>2</sub> /年
2	建築設備	開口部の断熱対策 (Scope1)	2.77 t-CO <sub>2</sub> /年
3	建築設備	開口部の断熱対策 (Scope2)	0.39 t-CO <sub>2</sub> /年
4	車輛	ハイブリッド車への切替	0.63 t-CO <sub>2</sub> /年
5	電力契約	再生可能エネルギープラン切替	8.08 t-CO <sub>2</sub> /年



株式会社ヨシダは、苦  
実現に向けて、脱炭素



削減施策一覧

設備種別	施策内容	削減 Scope	削減量			
			エネルギー量	一次エネルギー換算量	GHG排出量	エネルギーコスト
電気設備	集塵機への省エネVベルト採用	2	11,521 kWh/年	112.45 GJ/年	6.16 t-CO <sub>2</sub> /年	140,423 円/年
集計		Scope 1		0 GJ/年	0 t-CO <sub>2</sub> /年	
		Scope 2		112.45 GJ/年	6.16 t-CO <sub>2</sub> /年	140,423 円/年
		合計		112.45 GJ/年	6.16 t-CO <sub>2</sub> /年	

削減施策例

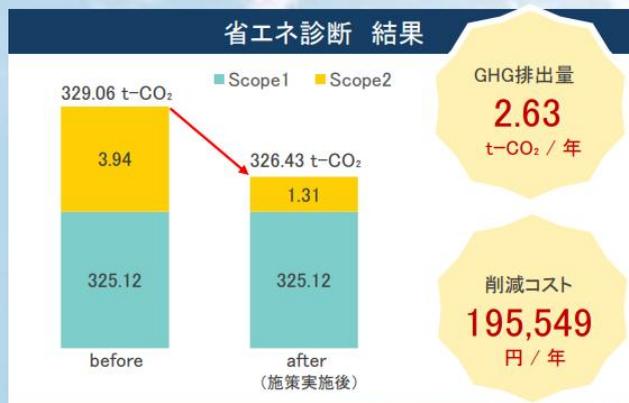
No.	分類	内容	削減量
1	電気設備	集塵機への省エネVベルト採用	6.16 t-CO <sub>2</sub> /年
2	車両	ハイブリッド車への切替	1.67 t-CO <sub>2</sub> /年
3	車両	B5軽油利用	8.30 t-CO <sub>2</sub> /年
4	電力契約	再生可能エネルギー契約への切替	1,117.76 t-CO <sub>2</sub> /年



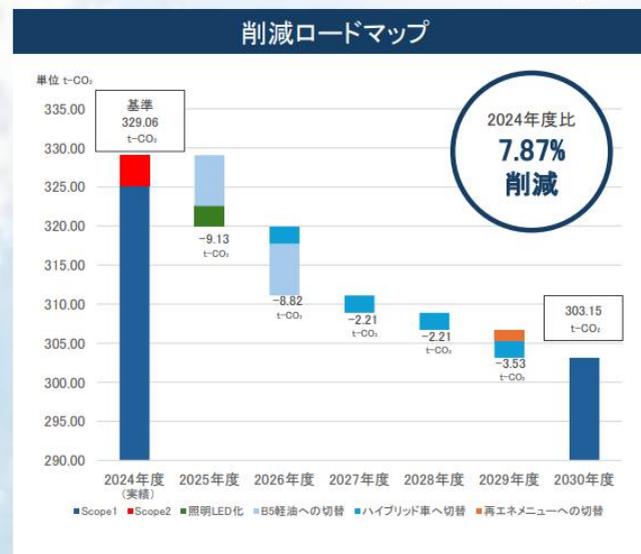
## 有限会社 高藤工業 脱炭素経営ファーストステップ宣言

Scope1 内訳

有限会社 高藤工業  
実現に向けて、脱炭



設備種別	施策内容	削減Scope	削減量			
			エネルギー量	一次エネルギー換算量	GHG排出量	エネルギーコスト
照明設備	1階事務所 LED化	2	2,366 kWh/年	20.44 GJ/年	0.92 t-CO <sub>2</sub> /年	68,626 円/年
照明設備	1階廊下 LED化	2	35 kWh/年	0.30 GJ/年	0.01 t-CO <sub>2</sub> /年	1,009 円/年
照明設備	1階給湯室 LED化	2	9 kWh/年	0.07 GJ/年	0.00 t-CO <sub>2</sub> /年	252 円/年
照明設備	1階トイレ LED化	2	4 kWh/年	0.03 GJ/年	0.00 t-CO <sub>2</sub> /年	118 円/年
照明設備	倉庫高所 LED化	2	4,329 kWh/年	37.40 GJ/年	1.69 t-CO <sub>2</sub> /年	125,544 円/年
集計		Scope1		0 GJ/年	0 t-CO <sub>2</sub> /年	
		Scope2		58.24 GJ/年	2.63 t-CO <sub>2</sub> /年	195,549 円/年
		合計		58.24 GJ/年	2.63 t-CO <sub>2</sub> /年	



No.	分類	内容	削減量
1	照明LED化	照明のLED化	2.63 t-CO <sub>2</sub> /年
2	車輛	B5軽油への切替	13.11 t-CO <sub>2</sub> /年
3	車輛	ハイブリット車への切替	8.85 t-CO <sub>2</sub> /年
4	電力	再エネメニューへの切替	1.32 t-CO <sub>2</sub> /年